

ArCS II北極航路課題 2020年度報告会

2021/3/22

金野 祥久(工学院大)

自己紹介

- 金野 祥久 (この あきひさ)
- 工学院大学 工学部機械工学科 教授
- 専門: 船舶海洋工学、流体工学

- ArCS II北極航路課題 研究課題代表者



北極航路課題とは

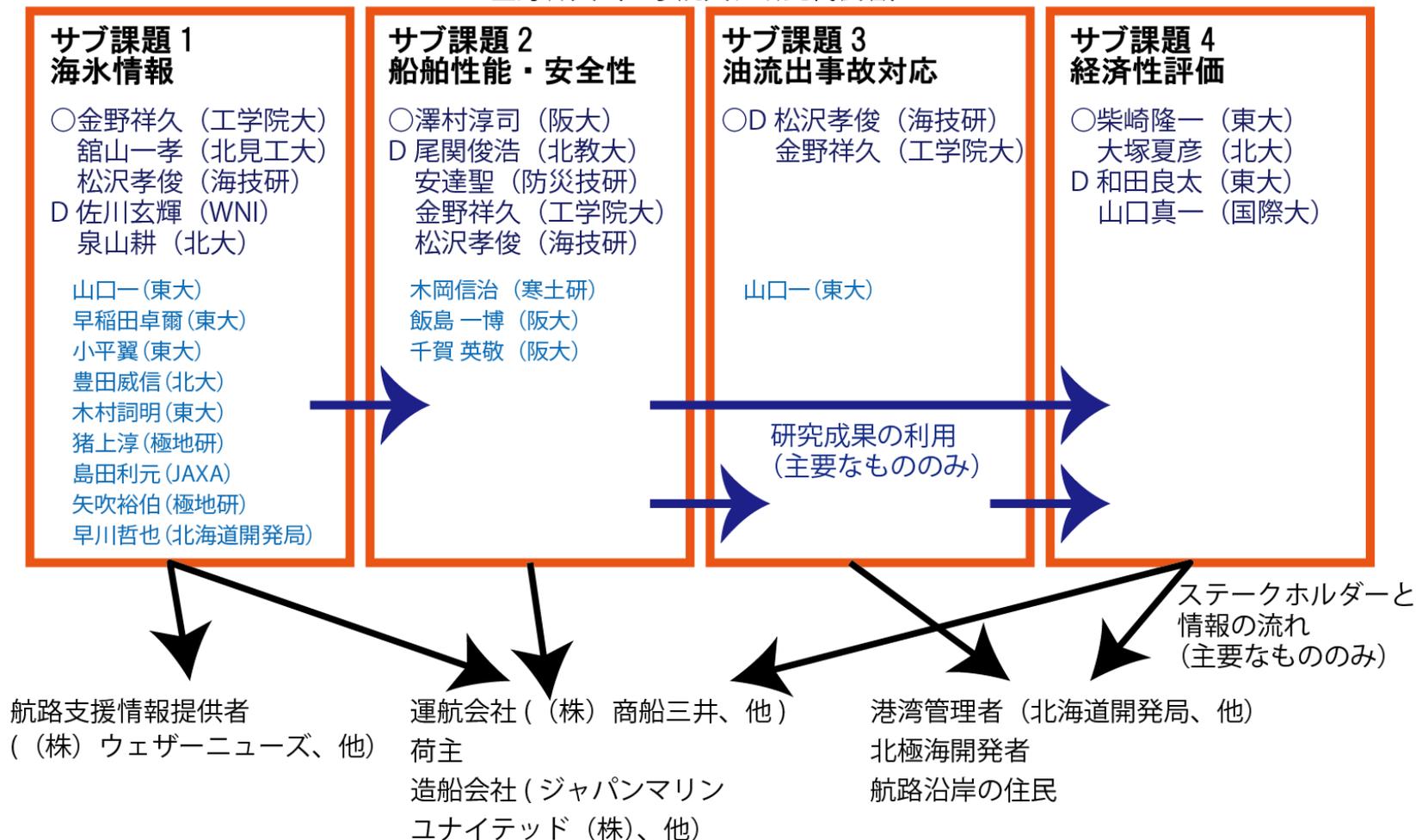


- 北極海の環境変動を考慮した持続可能な航路利用の探究
- 北極域研究加速プロジェクト(ArCS II: Arctic Challenge for Sustainability II)の、11ある研究課題のひとつ。2020～24年度。
- 北極海の環境変動をふまえ、近未来の航路航行支援手法を構築すること、および近未来の北極航路の経済性と社会への波及効果の評価を目指す。

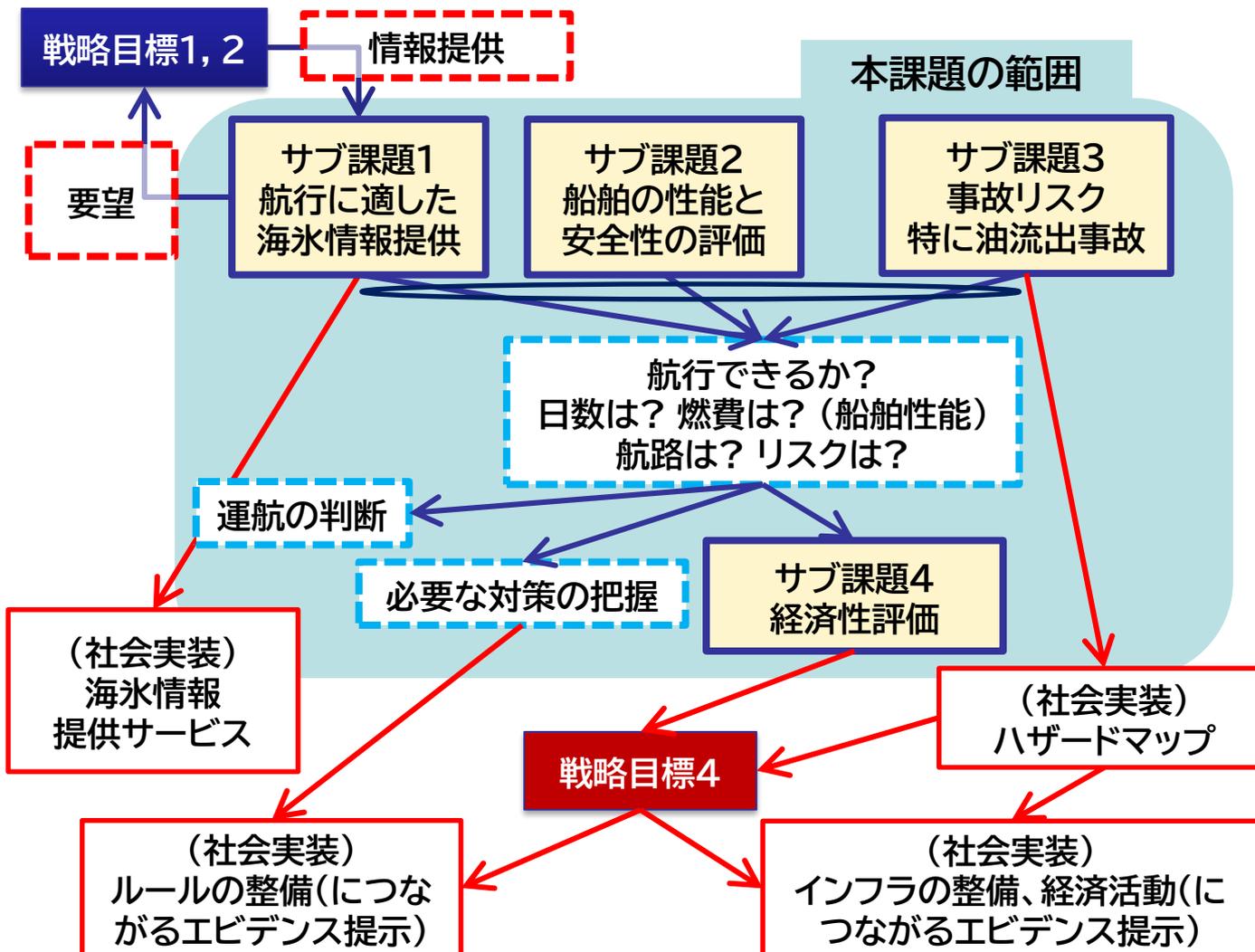
課題の構成(2020年度)

北極海の環境変動を考慮した持続可能な航路利用の探究

金野祥久 (工学院大、研究代表者)



北極航路課題の目論見



2020年度のイベント

- 6月～：研究委託契約等
- 9月9日：キックオフミーティング
- 3月22日：報告会

本日のプログラム(午前)

10:00 サブ課題1「航行支援に資する海氷情報生成手法の開発」の報告

10:30 サブ課題2「近未来の北極海環境を考慮した氷海船舶のリスク評価とルール化」の報告

11:00 サブ課題3「北極海における油流出事故のリスク評価および対策・対応の検討」の報告

11:30 山口一(東京大学／国立極地研究所)「北極海氷情報室の役割と2020年度の成果について」